

## 別表1

## プロポーザル評価項目及び評価基準表

評価項目		評価基準
業務遂行能力	業務実績	・類似の業務を実施した実績があるか。
	スケジュール 業務実施体制	・業務が円滑に遂行できる作業スケジュールか。 ・同日に複数会場で業務することを踏まえた十分な実施体制か。 ・安全確保・危機管理体制は十分か。
総括事項	業務理解	・本事業の趣旨、目的を正しく理解したコンセプトか。 ・過去の本行事の実施状況や、最近の時勢を踏まえた内容か。
	企画性 広報	・本事業の目的を達成するため、仕様書には記載されていない独自の工夫があるか。 ・広報用ポスターのデザインや、インターネットを含む情報発信方法について、訴求力はあるか。
	経済性 効率性	・事業の趣旨や仕様書の内容を十分に踏まえながらも、経済的な工夫があるか。 ・確実かつ効率的な運営手法であり、最小の費用で最大の効果が得られる内容か。
追悼復興祈念式	会場運営	・式典会場内の祭壇や装飾のイメージ、座席配置などのレイアウトは、本行事の趣旨と合致しているか。 ・来賓、出演団体、一般来場者等の導線などを踏まえ、運営手法に問題はないか。
	企画性	・司会者の選定は適切か。 ・「犠牲者の追悼」に重きを置いた企画・演出となっているか。
	実現性	・司会者の手配や各提案内容について、実施体制や経費も含め、実現性が高いか。
キャンドルナイト	会場運営	・安全確保や来場者の導線など、運営手法に問題はないか。
	企画性	・「キャンドルを灯すことによる犠牲者の追悼」に重きを置きつつ、より多くの方に点灯していただける企画・演出や、キャンドルの配置レイアウトとなっているか。
	実現性	・実施体制や経費も含め、実現性が高いか。 ・必要なスタッフを確保し配置することについて、実現性を高める工夫はあるか。